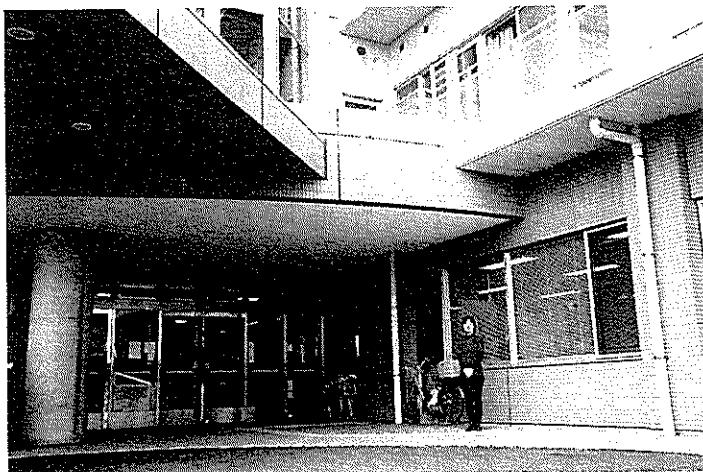


専門職の相談窓口に

在宅医療介護連携支援センター開設

周南市



支援センターが開設された徳山医師会病院

周南市は市民の在宅療養生活の支援へ、医療機関や介護関係に携わる職員などの相談窓口となる「市医療介護連携支援センター」を一日、東山町の徳山医師会病院西館二階の徳山医師会在宅支援部内に開設した。これは国が進める在宅医療介護連携推進事業の一環で同医師会に委託して設置するもの。

同センターのスタッフは介護支援専門員、看護師の藤井博子さん(53)は「社会福祉士、精神保健福祉士などの五人。(在

宅医療を希望する人の相談を受けたが、訪問してくられる医療機関を知りたい」などの相談を受け付ける。これまでそういう相談ができる場がなく、個人のネットワークなどで解決を図っていた。センターの開設でより多くの人が住み慣れた自宅で生活できる地域づくりの促進が期待される。

代表を務める介護支援専門員、看護師の藤井博子さんは「相談事の解決に向け努力し、この地域の高齢者

が安心して充実した生活ができるようお手伝いしたい」と話している。

相談日時は日曜日を除く午前九時から午後五時まで。電話は0834・27・4835。